

科目名	長期インターンシップ	英文表記	Long Term Internship	H26.3.14						
科目コード	6021									
教員名:【機械システム工学コース】眞喜志治、政木清孝					作成					
技術職員名:										
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間			
副産システム工学専攻 機械システム工学コース		専1	選	学修	4単位	演習	集中講義			
科目目標	長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につけることを目標とする。									
総合評価	研修(日報による評価40%)、研修先の評価(40%)およびインターンシップ報告書の内容(20%)で総合的に評価し、60%以上を合格とする。									
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法			目標割合			
	①	実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。(A-1、C-1、C-2)		⇒	研修(日報による評価)、研修先の評価およびインターンシップ報告書の内容で評価する。		40%			
	②	社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。(A-1、C-1、C-2)		⇒	研修(日報による評価)、研修先の評価およびインターンシップ報告書の内容で評価する。		30%			
	③	共同研究や受託研究を通して、研究開発の意義を学び、遂行することができる。(A-1、C-1、C-2)		⇒	研修(日報による評価)、研修先の評価およびインターンシップ報告書の内容で評価する。		30%			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学	
	◎			○	JABEEプログラム教育目標	A-1、C-1、C-2				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合										
		目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目			0	0	100	0	100			
基礎的理解		①②③			25		25			
応用力(実践・専門・融合)		①②③			25		25			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)		①②③			25		25			
主体的・継続的学修意欲		①②③			25		25			
授業概要、方針、履修上の注意	<p>【概要】</p> <p>学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。</p> <p>1. 履修を希望する学生は、各コース科目担当教員の指導を受け、授業計画に基づいて、インターンシップを実施する。</p> <p>2. 実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。</p> <p>3. 長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。</p> <p>4. 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。</p> <p>5. 習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。</p>									
教科書・教材	教員作成資料、インターンシップ先作成資料									

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	講義内容説明・ガイダンス	2	インターンシップの意義と講義の進め方について説明する		
2	インターンシップ先企業研究	10	企業研究、大学受け入れ先検討	企業・大学の調査	
3	インターンシップ	200	約4週間の企業研修、大学での研究	研修研究内容の自己研究	
4	成果報告まとめ	4	インターンシップ報告書の作成、報告会資料作成および発表	資料作成、プレゼンテーション	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末					
学習時間合計		216	実時間	162	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	企業内研修、大学研究での課題レポート			各2時間×5回	
②	課題発表(テーマに沿った課題について調べ、発表資料を作り、発表する)			各2時間×5回	
③					
備考欄					
<ul style="list-style-type: none"> この科目はJABEE対応科目である。 					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)